

## 7 平成25年度(2013年) 大会要項並びに試合規定

### ◎ 名 称

豊中市野球連盟

1. 主催 豊中市野球連盟
2. 後援 豊中市教育委員会  
豊中市体育連盟
3. 協賛 ダイワマルエス株式会社

### ◎ 使用球場

- 1) 豊島公園野球場・大門公園・千里北町公園野球場
- 2) 豊中市内各中学校々庭・その他球場

### ◎ 使用球 ダイワマルエスA号ボール

### ◎ 参加資格

登録の半数以上が、豊中市に在住・在勤の、18歳以上のもので、構成するチームとする。(注)二重登録は認めない。

なお、15歳以上のものでも、勤労者は登録できるものとする。

但し、スポーツ傷害保険に加入済みのチームに限る。

### ◎ 種 別 一般の部・壮年の部

### ◎ 試合方法(規定)

1. 全日本軟式野球連盟規則及び当該グラウンドルールに基づき行う。
2. 試合は、トーナメント方式とする。A級(24チーム)・B級(48チーム)、残りのチームをC級とし3階級制とする。  
新加入チームは、原則としてC級に属する。
3. 壮年も参加チームでトーナメント方式とする。  
**但し、壮年の部はDH制を採用する。**
4. 試合は、毎日曜日及び祝日に行うものとする。

### ◎ 試合開始時刻並びに注意事項

1. 試合開始時刻60分前に必ず球場へ集合し、ただちに、メンバー表2通を審判部まで提出のこと。(但し、前試合が早く終了する場合があります、規定時間30分前までに試合開始をする場合があるので、注意してほしい。)
2. 3回以後10点差、5回以後7点差を以てコールドゲームとする。

3. 日没、雨天の場合は4回の終了を以てコールドゲームとする。但し、4回以前はドロンゲームとし、5回以後同点の場合は抽選にて勝敗を決定する。
4. 試合は、90分ゲーム・7回打切りとし、試合開始時刻より80分を超えて、新しいイニングにはならない。
  - 1) 都合により、90分以内で打切る場合がある。

なお、イニング終了時の得点差により勝敗を決定し、同点の場合は抽選にて勝敗を決定する。

裁量権については、ゲーム担当の球審が下す。
  - 2) 優勝戦のみ7回終了まで行すが、場合によっては90分で打切ることがある。

(雨天、日没、傷害等)
  - 3) 試合中に、アピールがあっても、試合時間は90分とする。
5. 試合中、ベンチ内及び周辺でタバコを吸ったりアルコール類を飲んだり酒気を帯びてのプレーをしない事。もし発見した場合には、直ちに退場を命じ、悪質な場合は没収試合にする場合がある。
6. 試合中、審判員の判定に対する抗議は受付けない。但し、審判員の判定が野球規則侵害の理由による時のみ監督又は主将が抗議できる。
7. 試合中並びにベンチ内、コーチアボックス内から審判団の判定に対し過激な暴言、ヤジがある場合、又は試合中に選手が過激なプレーをした場合、直ちに試合を中止して注意を与え、なおかつそのような事態がある場合は、その選手に退場を命じ、退場しない場合はその試合を没収試合とし、相手チームの勝として試合を中止する。
8. 上記5、6、7の決定は、球場担当の審判リーダー長が決め、その状況を本部まで報告する。当連盟規約並びに審判員に対し違反するチームは失格とし、連盟より除名又は、出場停止処分を受ける場合がある。但し、この項において罰則規定に明記されているもので、各チームの選手に自覚させておくこと。
9. 試合中に生じた事故等については、応急処置の他、主催者は責任を負いません。なお、各参加チームにおいては、スポーツ活動における傷害事故対策として、スポーツ保険等への加入を義務付けるものとする。
10. 当日の試合以外での、公共物・学校等の器物破損に対し、当連盟は責任を負わない。

各チームにて弁償すること。
11. 器物に対する暴行は許さない。各チームの代表者が十分注意し、各チームの廃物品（ベンチ内）は責任をもって回収処理のこと。ゲーム終了後、各チームの選手によりグラウンド整備を手伝うこと。
12. 各チームの選手は、できる限り髪の毛を短くするようにしてください。
13. 監督は、私服でゲームの采配をしてはならない。(ユニフォームを着用すること。)

## ◎ チーム構成（大会でベンチに入れる人員）

試合の選手人員を最低10名（マネージャーを含むことも認める）とし、試合開始30分前に審判部より人員の確認をする。人員不足の場合は失格とし相手チームの勝とする。

1. 試合のためベンチ内に入れるのは、選手とマネージャー1名、スコアラー1名とする。

マネージャーは、ボール拾い・用具のかたづけ等の役割を受け持つものであること。

2. 全日本軟式野球連盟規定により、背番号は、0番から30番までを使用し、監督30番・主将10番と規定する。（00番可）

（但し、マネージャー・スコアラーはユニフォーム着用か、もしくは自軍のチーム入り帽子をかぶり、スポーツのしやすい服で、下駄ばき・スリッパばきは絶対に禁止する）

3. 10名の選手は、ゲーム終了まで必ずベンチに居なくてはならない。（マネージャー）
4. 当日スターティングメンバーとして提出した選手並びに裏面に記入していた選手が、もし試合開始時刻になっても出場なき場合（遅刻選手）は、途中からの出場は必ず球審に申し出て了解を得なければ出場出来ない（注意してほしい）
5. 登録並びにその他の項で、チームがいつわりを言っている場合は、そのチームの出場停止処分を行う場合がある。（罰則規定明記）
6. 試合開始時刻になっても出場できない（人員不足・服装違反・登録違反）チームは、棄権とみなし相手の不戦勝とする。

## ◎ 用具・装具

### 1. 用具

#### 1) 使用球

- ① 豊中市野球連盟公認のマルエスボールA号。

豊中市野球連盟主催の大会球は、各チーム持ち寄りとし、各チームは、試合開始前にニューボール3個を審判部に提出すること

なお、試合中に全ボールを紛失した場合は、両チームにニューボールの要求をする。

但し、試合終了後ボールが残れば、両チームに返納する。

#### 2) バット

- ① 木製バットを必ずベンチに2本以上おくことを義務とする。
- ② 金属・ハイコン（複合）バットは、J・S・B・Bのマークをつけた全軟連公認のものに限る。

- ③ 金属・ハイコンバットは色の制限はないが、単色以外の場合は連盟の承認を必要とする。

## 2. 装 具

### 1) マ ス ク

- ① 全軟連公認のもの以外は使用できない。

### 2) レガーズ・プロテクター

- ① 捕手はレガーズを着用のこと。
- ② プロテクターを着用のこと。

### 3) ヘルメット

- ① 打者・次打者及び走者は、耳付きヘルメット（Sマークつき＝通産省認可）の着用を義務づける。
- ② 捕手は、捕手用ヘルメットを着用のこと。

## 3. ユニフォーム、他

- 1) 同一チームの各プレーヤー（監督・コーチを含む）は、同色、同形、同意匠のユニフォームとし、チーム名及び背番号は必ず布着すること。

- 2) 袖の長さは両袖同一のものとする。

- 3) 背番号は0番から30番までとし、参加申込書に記載されている選手は全員必ずつけること（00番可）

- 4) 胸にチーム名は日本字、ローマ字どちらでもよい。胸にマークをつけてもよい。

- 5) 背番号の規格は、最小限15.2センチ以上。最大級、長さ21センチ、幅16センチ、太さ4センチ以内とする。

- 6) 帽子、ストッキングは、全員同色、同形、同意匠のものを着用すること。

- 7) スパイクは、ベースボールシューズの使用に限る。金属製スパイクの使用は**禁止する**。

なお、全員同色、同形、同意匠のものを着用が好ましい。

- 8) アンダーシャツは全員同色のものでなければならない。

- 9) 服装違反（無帽・チーム名・背番号等）の選手はベンチへ入ることができない。

- 10) ユニフォームの背中の選手名については、つけてもよい。

但し、背番号の上にローマ字で姓のみとする。つける場合は、チーム全員でつけること。

## ◎ 各球場での使用禁止場所

- 1. 大門球場の通路及び遊園地。
- 2. 金属リングをはめた素振りを禁止する。

3. 各校庭のテニスコートは、立入禁止につき要注意。
4. 千里北町公園野球場は全面駐車禁止（千里中央の駐車場を利用して下さい）
5. 大門公園への車の乗り入れは禁止です。（大門球場使用の場合は市役所第2庁舎北側の駐車場をご利用下さい。）
6. 各使用球場で特に第一試合に当たるチームに多いが、早朝無断で球場内に入り練習をやっているチームがあるが、発見した場合は失格とする。  
また、球場周辺の迷惑駐車も禁止する。  
これらのことに違反するチームは即失格とし、以後の出場権を与えない
7. 市内中学校で試合の場合はゴミを出さないこと。但し出したゴミは夫々のチームで持ち帰ること。（駐車場は所定の場所）
8. **使用球場内においては、全面禁煙と致します。**

◎ **主将会議並びに入場式**

1. 大会の入場式並びに閉会式には、前年度の優勝・準優勝・3位の各チームは、優勝旗・カップ・タテ等の返還を忘れずにすること。  
各チームは、1名必ず出席のこと。欠席のチームは失格とする。
2. スリッパばき・ツッカケでの、入場は認めない。

◎ **各級の昇級及び降級規定**

1. <A級> 上位8チームは、次期大会よりシードとする  
1回戦敗退の8チームは、次期大会よりB級に降級する。
2. <B級> 上位8チームを、次期大会よりA級に昇級する。  
1回戦敗退の16チームは、次期大会よりC級に降級する。
3. <C級> 上位16チームを、次期大会よりB級に昇級する。
4. A・B級チームで勝進んでいても途中棄権するチームは、次期大会より1ランク降級するものとする。（開会式等）
5. 各チームの昇降については、常任役員会で決定する。
6. **参加チーム数の減少により平成25年度連盟旗争奪野球大会よりB級・C級昇降数の変更を行います。**

◎ **登録方法**

1. 登録名簿は、大会申込みと同時に連盟が定めた大きさに10部提出するものとする。大きさの異なるものは受付けない。  
なお、登録名簿は、個人の住所・電話番号を明記し、事業所勤務の場合は、住所の横に事業所名を明記すること。  
(注) 遵守すること。

2. 大会中は、登録変更はできない。

但し、止むをえない場合は認めることがある。この場合、1名の追加登録でも新規登録と同様に扱い、登録費10,000円と共に登録名簿を10部提出のこと。

3. 相手チームの登録違反を発見した場合

1) 試合中の時は、速やかに審判員に申し出ること。

2) 試合終了の時は、連絡所を通じて申し出ること。

なお、連盟はそれを役員会議に送り、相手チームの勝を宣することもある。

### ◎ 試合棄権の報告義務

最近、試合を棄権するチームが増加して参りました。

もし前日の場合は、連盟本部または、所定の連絡所を通じ報告し、当日の場合は、所定の球場へ行き審判員に申し出ることを義務付ける。

### ◎ 各チームの義務

<審判の義務>

1. 各試合の勝者チームは、原則として2～3名の者を次試合の審判に当てる。

2. 敗者チームも場合によっては、2～3名の者を次試合の審判に当てることがある。

3. A級チームは、勝敗に関係なく2～3名の者を次試合の審判に当てることがある。

4. 審判をする者はチームの代表者で1・2・3項を違反するチームは、次試合より出場を認めない。

5. A・B級のチームは、1チーム1名の審判員を野球連盟に推薦し協力するものとする。(A級チームは特に)

### ◎ 各チームの注意事項

1. 大会申込み等は、連絡所へ締切り日までに各チームが必ず持参すること。

2. 大会日程の連絡をするため、各チームは2名以上の連絡者を定めておくこと。

3. 年間2大会の内、2大会とも出場しないチームは、新規加盟チームとして取り扱う。